

2007年9月14日

株式会社 三越 2007年8月上報告

1. 店別状況

店名	前年比 (%)
全店合計	0.3
日本橋	2.8
新宿アルコット	3.6
銀座	-9.9
池袋	-2.6
千葉	1.7
仙台	6.7
札幌	-2.6
名古屋栄(ラシック含)	-1.9
名古屋星ヶ丘	0.3
新潟	-5.3
広島	-2.7
高松	-0.5
松山	-1.1
福岡	4.2
鹿児島	2.4

2. 商品分類別売上高

		前年比 (%)
合計		0.3
衣料品	紳士服・洋品	-5.5
	婦人服・洋品	2.9
	子供服・洋品	-7.7
	その他衣料品	-0.4
衣料品小計	0.9	
身の回り品	2.1	
家庭用品	家具	-3.8
	電器	12.1
	その他家庭用品	-4.9
家庭用品小計	-3.5	
食料品	2.4	
食堂・喫茶	0.5	
雑貨	-4.2	
サービス	-1.5	
その他	3.9	

3. 店頭・事業部門別売上高

	店頭部門		事業部門	
	売上高	前年比 (%)	売上高	前年比 (%)
月計	39,829,689	-1.4	8,668,644	8.7
累計	294,898,568	-3.1	56,097,790	3.1

(金額単位:千円 前年比:%)

4. 来店客数

	前年比 (%)
全店	5.5

5. 商況概況

<8月商況>
 ・7月後半の低温傾向から一転し、長い梅雨が明け連日猛暑が続いた。ファッション部門では、婦人衣料の端境期商材や帽子・水着など実需期の商材が好調だった一方、秋物の動きは鈍かった。高額品の動きは引き続き堅調で、全店店頭合計の売上前年比は0.3%。日本橋本店、新宿アルコット、千葉、仙台星ヶ丘、福岡、鹿児島店の7店舗が前年を上回った。
 ・日本橋本店は、婦人衣料を中心に夏物セールなど実需期の商材が好調だったほか、8月21日(火)新館地下1階にオープンした「シエフス&スペシャリティダイニング」は順調で、全体では売上前年比は2.8%となった。
 ・銀座店は、衣料品や水着などのシーズンMDも引き続き好調だったものの、一部ブランドの契約終了による売上減が響き、売上前年比は-9.9%となった。査定に対しては、ほぼ計画通りに推移。
<その他>
 ・銀座店で2006年1月より受け入れている「中国銀聯カード」の取り扱いを9月16日より、日本橋本店札幌店、名古屋栄店、福岡店にも拡大する。今後も訪日外国人の利便性を高めていく。
 ・日本橋本店では、8月25日(土)～9月2日(日)7階催物会場にて「ワールドウォッチフェア」を開催。高級時計の名門ブランドの今年の新作を中心に三越先行・限定品も豊富に取り揃え、売上も順調に推移した。
 ・札幌店では8月21日(火)に「三越大通り別館」がオープン。1階に「ニューヨークソウエイネクスト」の路面店、2階は「小樽洋菓子舗ルタオ」のスイーツカフェを出店。来客・売上ともに好調に推移している。

(参考) 2006年9月からの売上前年比推移(全店計)

	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
全店計	-0.6	-4.9	-2.0	-4.5	-1.0	-3.8	-3.8	-5.2	-2.7	5.0	-5.0	0.3